

学校地域WIN-WINプロジェクト フォーラムについて

【主旨】

- ・実践研究校における取組の成果の普及
- ・学校職員と企業・NPO等の方との交流

【参加者：約200名】

- ・実践研究校の生徒、県立学校の教職員、島根県教育委員会・同県立学校の生徒、企業、NPOなど

令和2年

1月15日（水） 13:15～

会場：埼玉県県民健康センター
大ホール

「学校地域WIN-WINプロジェクト」フォーラム

1 開会（13:15～）

○挨拶

埼玉県教育委員会教育長 小松 弥生

2【第Ⅰ部】全員参加グループセッション（13:25～）

○小グループ（6人程度）で生徒と大人が協議します

〈参加者〉約200人

生徒・・・埼玉県立浦和東高等学校・埼玉県立志木高等学校・埼玉県立皆野高等学校
埼玉県立小川高等学校・埼玉県立春日部女子高等学校
島根県立隠岐島前高等学校・島根県立平田高等学校・島根県立松江東高等学校
関係者・・・県立学校教職員、自治体職員、企業 等

ファシリテーター 豊田 庄吾 氏
（隠岐國学習センター センター長）

福岡県大牟田市出身。大手情報出版会社を経て、人材育成会社にて大手企業・中央省庁の研修講師を務める。また、経済産業省の起業家教育促進事業で、全国300校以上の公立学校にて起業家精神育成の授業実績あり。2009年11月海士町（あまちょう）に移住。高校魅力化プロジェクトに参画し、高校連携型公立塾、隠岐國学習センターを立ち上げ、現在同センター、センター長。学校と地域が一体となった人づくりの実践者として、奔走中。島根県社会教育委員。総務省地域力創造アドバイザー。

3【第Ⅱ部】交流・名刺交換会（16:35～）

○リラックスしながらの交流・名刺交換を行います

〈参加者〉生徒、県立学校教職員、自治体職員、企業 等

4 閉会

令和元年度 「学校地域WIN-WINプロジェクト」フォーラム

教育長挨拶（要旨）

- 生徒さんたちが色々学ぶ時、自分が学んで自分が出したアイデアが、実際に地域や世の中で使われたら、責任を持って取り組むし、とっても嬉しいと思いませんか。
- どんな課題があるか、課題の解決方法は何かなどを学ぶだけではなく、学校でも実際に実現できるということを学んでほしいと思います。
- 地域から色々学校で学ぶべき資源を提供していただき、その人たちが持っている課題を実際に生徒さんたちのアイデアで解決できれば、本当に嬉しいことではないですか。
- そうすることによって、学校も地域もメリットがあるので、学校地域WIN-WINという名前を付けた事業になっています。
- 埼玉県では、何校かがこのプロジェクトに参加し、実際に企業の方に御指導いただき、生徒さんがパンのアイデアを出し、企業が作って売るという取組を行いました。
- 今年度は、小川町で「おがわ学」という取組も実施しています。これは、小川町にどんな魅力や課題があり、課題を解決するにはどういうことをやっていったら良いか、ということをお小学校・中学校・高校、そして地域の方が一緒になって考えながら取り組んでいくものです。
- このフォーラムは、そのような活動をしている学校や生徒さん、そしてこれからもっと発展させたいと思っている学校の先生方に参加をいただき、情報共有や人の繋がりを作っていくためのものになっています。
- フォーラムの後で、名刺交換の時間などあります。是非、ここで大勢の仲間を作っていただければと思っています。



【第1部】全員参加グループセッション

- ファシリテーター 豊田 庄吾 氏（隠岐國学習センター長）
- 活発な意見交換を促すため、1グループ約6人。
（椅子を円状に並べ。丸いダンボールを机として使用）
- グループには、生徒2人と大人の職種・職位等がミックスされるように事前に32のグループ分けを行う。



■＜目的＞

生徒や教員同士が対話から、WIN-WINプロジェクトの意義を理解し、自身の立場でチームを作ってやってみたいことを言語化する（自らの壁を越える）

■<目標／ゴール>

WIN-WINプロジェクトの意義を理解し、自身の立場でやってみたいことが言語化出来た人が、学校に戻って校内でチームをつくり、チームで行動する（自ら行動に移す）

□本日みんなで考えてみたい：「探究的な学び」の本当の価値って何？それはどうすると実現できる？

【チェックイン】

□自己紹介、「WIN-WINプロジェクト」に関して、まだ人には言ったことがない本音（悩み、困りごと、など）

【セッション1】

□探究的な学び（WIN-WINプロジェクト）の意義を考える

□生徒の取組の説明

取り組んでみて自分自身、何を学んだか、どんな変化を感じているか、どう成長したか、探究的な学びをやって感じたこと、生まれた問い、など

□生徒が感じた「テーマ」を基に対話

生徒が取組を通じて感じたテーマや問いを基に「探究的な学び（WIN-WINプロジェクト）」の意義や価値について、グループごとに対話する（大人は生徒たちへの質問を中心に）

【セッション2】

□「おがわ学」の運営／推進を考える

□小川高校発表

「おがわ学」を実践して感じる運営上でのポイント、悩みなど

□豊田氏ショートレクチャー

探究的な学びを進めていく体制づくりにおけるポイント

□ショートレクチャーを聞いての感想共有



【マグネットカフェ】

□各自、話したいテーマのグループに入る

□はじめの一步（アクションプラン）

【チェックアウト】



【第2部】交流・名刺交換会

□新たな出会いや、共通の課題などを語り合う場

□生徒用の名刺は、昨年度の実践研究校である越谷西特別支援学校の生徒が作成